

～トップアスリートの支援・雇用を実現～

JOC「アスナビ説明会」を北区・板橋区合同で開催 =北区=

4月19日（木）、味の素ナショナルトレーニングセンターで、（公財）日本オリンピック委員会（以下JOC）が主催するアスリートのための就職支援ナビゲーション「アスナビ」説明会が北区と板橋区との共催で開催された。北区では今年で5回目。

フェンシングやウエイトリフティングなどを行う就職希望選手6名*1は、競技の説明とあわせて、諦めない気持ちや弱点を克服した経験など、トップアスリートならではの境遇から培った能力をPR。参加した北区・板橋区内等の企業51社の担当者はメモをとりながら熱心に清聴し、早速選手にコンタクトをとる姿が多くみられた。

今後、参加企業が社内で検討した上で選手と面談し、合意の上で採用が確定する。



プレゼンテーションの様子

「アスナビ」は、現役トップアスリートが競技をしながら仕事のできる環境を整えるために、JOCがトップアスリートの就職を支援する取組み。企業への就職を望むアスリートと、競技活動に理解を示す企業とをマッチングし、スポーツ界と産業界の間にWin-Winの関係をつくることを目的としている。北区でも、アスリートの練習拠点である味の素ナショナルトレーニングセンター（西が丘3-15-1）と区内企業が近い距離にあるという地域特性を活かし、JOCの主催で開催され、今年で5回目の実施となる。

この日、北区・板橋区内等の企業51社（62名）が参加した。企業による「アスナビ」での採用事例の紹介等が行われたほか、元競泳選手の伊藤華英選手（北京、ロンドンオリンピック出場）が、企業にサポートしてもらった自身の経験を踏まえて力強く支援を呼びかけた。そして、就職希望選手6名によるプレゼンテーションを実施。最初こそ緊張した面持ちで競技活動を話していた選手達だが、東京2020大会への出場やメダル獲得への思いと、諦めない気持ちや弱点を克服した経験など、トップアスリートならではの境遇から培った能力が企業において貢献できることを熱く語っていた。

プレゼンテーション終了後は、企業と就職希望アスリートとの情報交換会を実施。早速選手にコンタクトをとる企業が多数みられ、選手たちは仕事内容や功績などの話に熱心に耳を傾けていた。

今後、参加企業が社内で検討した上で選手と面談し、合意の上で正式な採用が確定する。

*1 参加した就職希望アスリート

古谷 拓夢（陸上競技）／野口 凌平（フェンシング・フルーレ）／菊池 小巻（フェンシング・フルーレ）
野中 雅浩（ウエイトリフティング）／渡邊 えみ里（カヌー・スプリント）／宮嶋 克幸（スケルトン）



問い合わせ

東京オリンピック・パラリンピック担当課

TEL 03-5390-1136

*上記以外は同担当課長：石丸 090-2238-3475